

# 市役所新庁舎の整備を検討しています



市役所の庁舎は、建設してから既に46年が経過し、老朽化が進んでいます。また、窓口が分散していて、バリアフリー化の対策が遅れているなど、市民の皆さんに不便をお掛けしています。このため、市は新庁舎の整備を検討し、議会や地域懇談会で説明を行ってきました。

このたび、これまでの検討結果を踏まえ、「市役所新庁舎の整備に係る基本的な考え方」をまとめましたので、お知らせします。

新庁舎の建設場所は、建設期間や建設費用、市民の利便性、中心市街地の活性化などを踏まえ、日石町3・4街区（文化会館アルフォーレ西隣接地）が最適地であると考えています。

## 概要

### 1 新庁舎建設の必要性 (現庁舎の課題)

- 施設の老朽化と劣化が進行
- 窓口が分散していて不便
- 防災拠点としての機能強化が必要
- バリアフリーへの対策が不十分
- 駐車場が不足
- 執務室が狭い

### 2 建設地の検討

新庁舎の建設場所は、現在地と日石町(3・4街区)の2か所について比較検討した結果、日石町が最適地であると考えています。

#### (1) 現在地での建て替え

- 本館裏の駐車場敷地は、建築基準法の日影規制により、建設に必要な面積を確保できないため、現庁舎を解体した後、建設することになる

- それには、仮庁舎の設置や防災行政無



## 市役所新庁舎の整備を検討しています

線の仮移設が必要となるため、より多くの工事期間と経費が掛かり、市民の皆さんにも不便をお掛けする

● 建設期間中、来庁者用駐車場の確保が難しくなる

● 周辺道路が狭く、建設期間中の渋滞などが予想される

### (2) 目石町(3・4街区)での建設

● 3・4街区の敷地面積は、約1万9500㎡(現在地とほぼ同じ)

● 中心市街地内で、庁舎建設に必要な面積を確保できる土地は他にない

● JR 柏崎駅やバスターミナルに近接し、公共交通を利用しやすい

● 駅周辺の市街地整備に貢献できる

● 災害発生時には、文化会館アルフォーレと駅前公園を一体的に活用できる

### 3 新庁舎に求められるもの

● 人が集つよりどころ

● 地球環境保全への配慮

● 中心市街地のにぎわいを創出

● 公共交通機関の活用

### 4 新庁舎の規模など

延床面積は、多目的スペースなどを含め1万4千㎡程度を想定しています。

(現庁舎の約1・25倍)

事業費は、他市の事業費などを参考に、70〜75億円程度と想定し、その財源は庁舎整備基金、地域振興基金、合併特例債などの活用を検討しています。

### 5 今後のスケジュール

平成26年度に建設用地を取得し、その後、基本計画などの策定に取り掛かりたいと考えています。建設財源に合併特例債を活用する場合、合併特例債の活用期限である平成32年度中に新庁舎を完成させる必要があります。

### 6 現庁舎の今後の在り方

他の行政目的としての活用を含め、中心市街地の活性化に役立つ在り方について、今後検討を進めます。

新庁舎建設に係る基本計画などは、市民の皆さんのご意見を伺いながら検討を行います。新庁舎建設のご意見・ご質問は、総務課新庁舎建設担当へお問い合わせください。

☎ 総務課新庁舎建設担当

☎ 23・2330 FAX 32・3303

### 柏崎駅の近くです。



▲新庁舎の建設場所